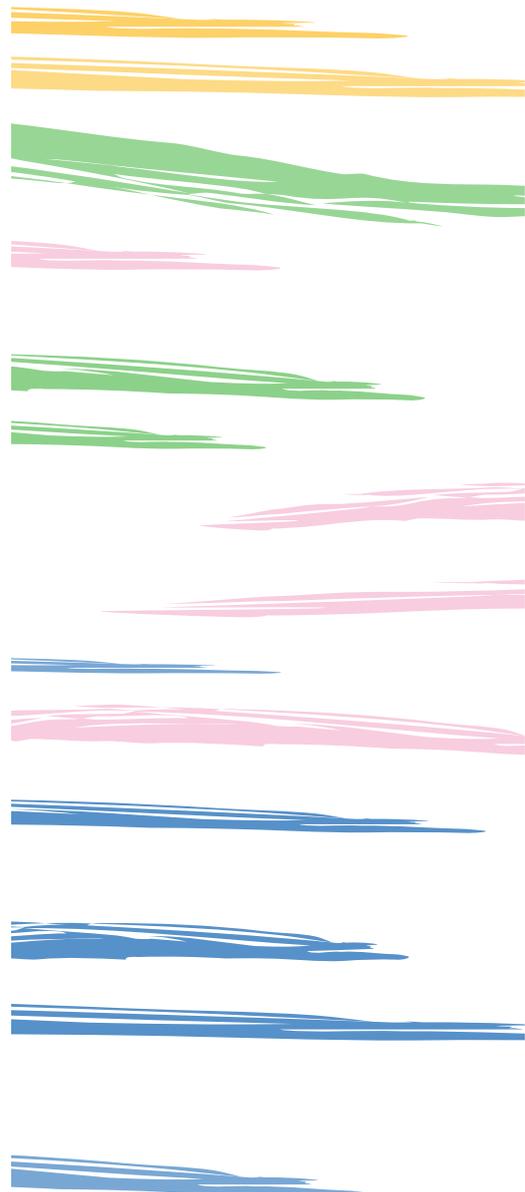




第2章

当初計画の実施状況



第2章. 当初計画の実施状況

1. 当初計画の概要

神戸市では、人との関わりの中で育てられてきた緑の歴史や市民の緑に関する意識の高さなどを踏まえ、自然との新たな共生関係を構築することで、50年、100年後の神戸が緑豊かな都市であり続けることを願って、2025（平成37）年を目標年次とした「神戸市緑の基本計画＝グリーンコウベ21プラン」を2000（平成12）年7月に策定しました。

計画の基本理念である「緑生都市」を実現するために、緑の確保目標として3つの目標を掲げるとともに、5つのテーマに沿って具体的な施策の展開を図ってきました。

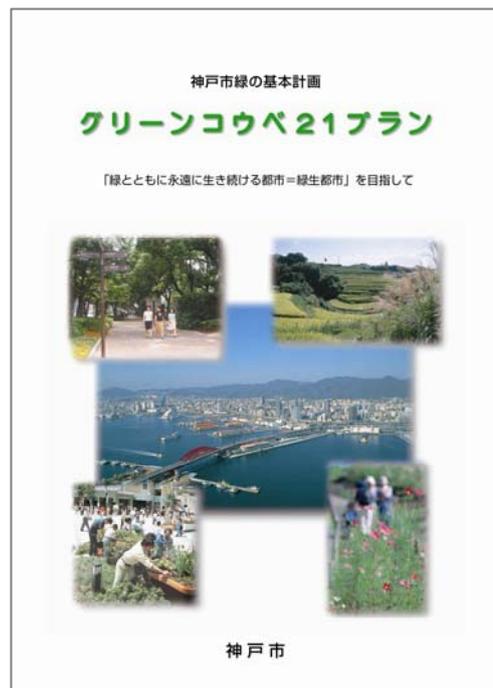
基本理念 「緑とともに永遠に生き続ける都市」＝「緑生都市」

緑の確保目標

- (1) 持続性のある緑地量
- (2) 市民一人当たり公園面積
- (3) 市街化区域の緑被率

5つの施策テーマ

1. 安全で安心な緑のまちづくり
＜防災＞
2. 環境共生社会へ導く緑のまちづくり
＜緑＞＜水＞
3. 元気で楽しく暮らせる緑のまちづくり
＜レクリエーション＞＜健康・福祉＞
4. 魅力と活力あふれる緑のまちづくり
＜魅力＞＜活力＞
5. 人と緑の共生をめざす緑のまちづくり
＜コミュニティ＞＜管理・運営＞



神戸市緑の基本計画（これまでの計画）

2. 緑の確保目標の達成状況と評価

(1) 永続性のある緑地量[※]

貴重な緑を未来へ継承すべき市民共有の資産と位置付け、永続性を持たせ大切に守る。

※永続性のある緑地量とは

市街化調整区域における「みどりの聖域^{*}」や「人と自然との共生ゾーン^{*}」等における主に地域性緑地と、市街化区域における公園緑地等の施設緑地との総和

グリーンコウベ 21 プランの策定時		現況 2010 (平成 22) 年
1999 (平成 11) 年時点 の永続性のある緑地量	目標	現況の 永続性のある緑地量
約 35,000ha	35,000ha	約 35,000ha

- ・市街化調整区域における「みどりの聖域^{*}」や「人と自然との共生ゾーン^{*}」、市街化区域における民有緑地や公園緑地などで量的な目標は達成されています。

(2) 市民一人当たり公園面積

市民一人当たりの公園面積を、21 世紀初頭には 20 m²以上確保する。長期的には 30 m²以上を目標とする。

グリーンコウベ 21 プランの策定時		現況 2009 (平成 21) 年
1999 (平成 11) 年時点 一人当たり公園面積	目標	現況の 一人当たり公園面積
16.31 m ²	20 m ² 以上	16.97 m ²

- ・一人当たり公園面積は着実に拡大しているが、現段階では、目標値に届いていません。
- ・しかし、今後は人口の減少に伴い数値が自然に増加することが予想され、実質的な公園面積の増加を示す指標とならないと考えられます。

(3) 市街化区域の緑被率

市街化区域の3割を緑化する。

グリーンコウベ 21 プランの策定時		現況 2005 年 (平成 17) 年
1995 (平成 7) 年時点 市街化区域の緑被率	目標	現況の 市街化区域の緑被率
33.6%	3 割以上	32.9%

- ・市街化区域全体では、目標は達成しています。
- ・しかし、既成市街地では、地域や土地利用によって差異が大きくなっています。

3. 主な施策の実施状況

当初計画に記載されている5つのテーマに基づく40項目148施策項目の内、2000(平成12)年度以降の主な実施状況(施策項目と事業の実施状況)は以下のとおりです。

テーマ1. 安全で安心な緑のまちづくり<防災>

主な施策項目	主な事業の実施状況
河川緑地軸の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○河川緑地軸整備事業 6河川中、3河川の緑地軸は概成 用地買収・施設整備(都賀川公園等) ○都市基盤河川改修事業 H20~22年度:妙法寺川において、下中島公園及び妙法寺川公園隣接区間の親水整備を実施
街路緑地軸の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○市道臨港線整備事業による道路整備等
山麓緑地軸の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○六甲山系グリーンベルト整備事業*による山林の買収(国・県) H12年度末:847.1ha⇒H21年度末:1174.0ha (Aゾーン市域全体の公有地化率約7割) ○緑地の育成事業による人工林の間伐 H21年度末:53.33ha実施
臨海緑地軸の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○舞子東海浜緑地(アジュール舞子)の整備 H18~21年度末:用地買収(進捗率66%) 施設整備(進捗率69%) H7~18年度末:東部臨海部地区の整備(9.9ha)
防災公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○震災復興土地区画整理事業等における公園整備 H12年度:6箇所 → H21年度:28箇所/予定30箇所
「こうべ慰霊と復興ゾーン」と(仮称)神戸震災復興記念公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○みなとのもり公園(神戸震災復興記念公園) H21年度末に完成
市街地公園のリニューアル	<ul style="list-style-type: none"> ○公園の再整備 石屋川公園、小寄(本山交通)公園再整備、若松公園の拡張等 H21年度実施の都市公園機能実態調査の結果を分析し、再整備に役立てる

事業の実施状況例

○河川緑地軸の整備



新湊川と新湊川公園

○防災設備のある公園の整備



水笠通公園

テーマ2. 環境共生型社会へ導く緑のまちづくり<緑><水>

主な施策項目	主な事業の実施状況
都市の環境を和らげる 都市緑化	○街路緑化事業、公共施設緑化の推進 緑化助成制度 H21 年度助成件数：12 件 (生垣緑化：7 件、まちかど緑化：5 件)
地球温暖化の防止に寄与 する緑地の保全と創出	○屋上緑化、壁面緑化等の推進 県条例に基づく指導推進 H21 年度協議件数:55 件 ○緑地の保全に関する各種規制 ・みどりの聖域 H4 年度指定 主要な森林 14,937ha を指定 ・風致地区 H21 年度末までに 10 地区 9,216ha を指定 良好な自然的景観を維持・保全 ・特別緑地保全地区 H22 年度現在：六甲山系を中心に全 31 地区 約 2,604.3ha を指定 ・公有地化 H22 年度現在：346.7ha を買収 ○人工林の間伐 H21 年度：53.33ha 実施
公園での 森づくり、池づくり	○池などのある公園整備 H21 年度末：10 公園
拠点施設の整備と環境 学習の推進	○環境学習の推進 森の学校、森の小学校、森の匠、摩耶の森クラブ H12 年度：1,567 人→H21 年度：参加者数 3,019 人
自然循環システムを取り 入れた緑地整備と管理	○緑のリサイクル事業 剪定枝の堆肥化年間約 1,200t ○しあわせの村内に緑のリサイクル施設 H16 年度設置
エネルギーの有効活用	○太陽光パネル等の設置 H21 年度末：140 公園

事業の実施状況例

○池などのある公園の整備



六甲道北公園

○太陽光パネル等の設置



千歳公園

テーマ3. 元気で楽しく暮らせる緑のまちづくり<レクリエーション><健康・福祉>

主な施策項目	主な事業の実施状況
知恵を使った公園用地の確保と公園整備	○買収以外の公園用地確保による公園整備 都市空間の公園的利用を促す市民公園の設置 H12年度末:207箇所 → H21年度末:210箇所
誰でも気軽に利用できる運動施設の充実	○アスリートパークの拠点となる施設の充実 御崎公園、北神戸田園スポーツ公園、垂水健康公園
多様なレクリエーション需要の広域的分担	○広域レクリエーション施設による連携・役割分担 しあわせの森、国営明石海峡公園（神戸地区）
誰でも気軽に集える身近な緑の空間の確保	○高齢者の緑の拠点施設の確保 健康遊具等の設置
世代間の交流が可能な場の創出	○高齢者と子どもの世代間交流が可能な場の創出 市民花壇制度 H12年度末:428箇所 → H21年度末:698箇所
ユニバーサルデザインを導入した緑地の整備	○公園のバリアフリー化* H19~21年度末:60箇所
神戸アスリートタウン構想の拠点緑地整備	○スポーツ交流等の拠点となる緑空間の整備の推進 「みなとのもり公園（神戸震災復興記念公園）」に ニュースポーツ広場を整備

事業の実施状況例

○ユニバーサルデザインの導入



公園のバリアフリー化（しあわせの村）

○スポーツ交流等の拠点の整備



御崎公園

テーマ4. 魅力と活力あふれる緑のまちづくり<魅力><活力>

主な施策項目	主な事業の実施状況
海や市街地からの景観に配慮した六甲山系の緑化	○海や市街地から眺める六甲山系の魅力向上のための緑化 四季彩の森づくりの推進、ハイキング道沿いにヤマザクラ、モミジ等植栽
歴史的・文化的資産と緑を一体的に保全活用	○緑地保全規制 ・太山寺風致地区(H4年指定 55.9ha) ・緑の聖域(H4年指定。風致地区と同区域) ・太山寺特別緑地保全地区*(H4年指定 46ha) ○農村景観保全形成基準ガイドラインの策定
港湾の修景、須磨～舞子の海岸風景の保全	○海岸線景観の魅力向上のための緑化推進と保全 風致条例による保全 須磨風致地区 S45年指定 494ha 都市景観条例、須磨海岸をまもり育てる条例による保全
山麓展望公園の整備	○六甲山から市街地を眺望する魅力ポイントの整備の推進 新規事業なし
生き物生息環境に配慮した都市緑化	○実のなる街路樹整備(路線・スポット) H12年度末:10箇所 → H21年度末:12箇所
緑のゲートづくり	○山と海を結ぶ緑の軸線づくりと協働による多面的緑化の推進 都心シンボル軸の魅力アップ ・生田川沿いのサクラの植栽本数 135本 ・スポンサー花壇数H15～ 12箇所 ・神戸空港島内における緑地の面積 7.0ha
商店街等の活性化に役立つ緑化	○商店街振興組合等の協力による緑化の推進 フラワーホット事業* H12年度末12地区22組 → H21年度末11地区22組
コミュニティ拠点となる緑地の整備	○田園・農村集落のコミュニティ活動拠点の整備の推進 CCP*の整備 H21年度末:12町中8町が完了 遊歩道、案内板等の整備

事業の実施状況例

○山と海を結ぶ緑の軸線づくり



生田川沿いの桜並木

○協働による企業との緑化の推進



スポンサー花壇(朝日ビル前)

テーマ5. 人と緑の共生をめざす緑のまちづくり<コミュニティ><管理・運営>

主な施策項目	主な事業の実施状況
地域住民による公園の自主的な管理運営	○まちなみ緑花ボランティア*の推進 H12年度末：559団体 → H21年度末：719団体 (783公園) (968公園)
ワークショップ等による住民主体の公園づくりや緑化活動の展開	○住民とのワークショップ*による公園整備が一般的になる
住民の自主的な防災活動の場の確保	○既成市街地の防災拠点となる公園、広場の整備推進 住区基幹公園* H12年度末：786箇所 → H21年度末：1,264箇所 公園内に防火水槽のある箇所数 H12年度末：171箇所 → H21年度末：193箇所
活動の中核を担う緑花リーダー等の人材の育成	○緑花リーダーの育成 H21年度：まちかど花緑ガーデナー養成講座10回、 講習会6回
緑にかかるコーディネート機関の設立	○花みどり市民ネットワークの設立 活動団体間のネットワークづくりや行政との調整役として 設立
NPO等による施設の管理運営	○みなとのもり公園（神戸震災復興記念公園）全体や北神戸田園 スポーツ公園内里山・農地等の管理運営
緑の情報交流拠点施設の整備	○緑に関する情報発信 花と緑のまち推進センターによる支援 貸し会議室、イベント案内、美緑花ボランティアだよりの発行 花みどり市民ネットワーク支援事業、ネットワークニュースの 発行（年4回）

事業の実施状況例

○緑花リーダーの育成



まちかど花緑ガーデナー養成講座



緑花リーダーの講習会

4. 10年間のふりかえり

当初計画の5つのテーマにそって、これまでの10年にわたって取り組んできた施策の成果や課題についてふりかえります。

テーマ1. 安全で安心な緑のまちづくり <防災>

- ・安全で安心なまちの形成をめざして、避難場所や復旧拠点など防災機能をもつ緑地の整備や、震災復興関連の区画整理や再開発に合わせて公園緑地の整備を行いました。
- ・その結果、山麓緑地軸（グリーンベルト）、河川緑地軸などの防災緑地軸や防災公園整備について顕著な進捗が見られたほか、復興のシンボルであるみなとのもり公園（神戸震災復興記念公園）をはじめ、様々な新たな防災拠点も生み出されました。また既存公園についても、施設の機能向上や地域の防災活動との連携により防災力の一層の充実が図られました。
- ・一方で、依然として身近な防災拠点であるオープンスペースが不足している地域も見られます。また六甲山などでは、森林の防災機能の維持向上のため、より多様で安定した森林を目指した保全育成のあり方が課題となっています。

テーマ2. 環境共生社会へ導く緑のまちづくり <緑><水>

- ・地球温暖化防止、環境共生社会の実現に向けて、六甲山をはじめとする骨格となる緑地の保全や都市緑化に取り組んできました。
- ・また、この自然環境を次代に継承するため、環境学習や市民への啓発、堆肥化やチップ化など緑の資源リサイクルの取り組みなども進められました。
- ・西北神地域の農業・農村地域とそれを取り巻く里山は、「人と自然との共生ゾーン*」として位置づけられ、地域住民の協働と参画により、地域の活性化、自然環境や農村景観の保全などが取り組まれてきました。
- ・環境に配慮した自然エネルギーの活用のため、公園への太陽光パネル等の設置が進められました。さらに県条例に基づく建築物の屋上緑化や壁面緑化の制度が導入されました。
- ・一方で、CO₂吸収源や生物多様性の保全の場として大きな役割を担う森林の育成や、環境学習や希少種*保全の拠点づくり、さらには市街地のヒートアイランド対策などについては今後も一層の取り組みの充実が求められています。

テーマ3. 元気で楽しく暮らせる緑のまちづくり <レクリエーション><健康・福祉>

- ・健康づくりやレクリエーションの場となる公園緑地の整備に取り組んできました。
- ・特に御崎公園や北神戸田園スポーツ公園、垂水健康公園のほか、ニュースポーツ広場を備えたみなとのもり公園（神戸震災復興記念公園）など、幅広いニーズに合わせた施設が整備され、多くの市民に利用されています。また高齢化社会に対応した身近な公園のバリアフリー化*や健康遊具等の施設設置が進められています。
- ・一方で、身近なレクリエーション空間が不足している地域もあり、多様な手法による新たな緑地の創出や様々な利活用ニーズへの対応については、より積極的な対応が求められています。また整備が進められている国営明石海峡公園（神戸地区）は、将来にわたって里地・里山の環境や文化を継承する特徴的な公園として期待されています。

テーマ4. 魅力と活力あふれる緑のまちづくり <魅力><活力>

- ・神戸の魅力を高めるため、緑による景観形成や歴史文化を継承することに取り組んできました。神戸らしさのシンボルである六甲山の緑化、玄関口である新神戸駅から空港にいたる緑の軸線づくり、観光地における回遊性の確保、また有馬や太山寺周辺及び田園地域等においては歴史的・文化的資産と一体となった緑が保全されてきました。
- ・またおしゃれで明るい神戸の都市イメージを表すように、北野や旧居留地などで、まちなみにあわせた飾花や買い物客で賑わう商店街での協働によるプランター設置が行われるなど、花と緑による演出が進められました。
- ・一方でウォーターフロントでは、新たな都心機能の導入により、回遊性や景観の向上、オープンスペースの創出等、緑が先導して魅力を向上していく取組みが求められています。また田園地域においては、集落の活性化が課題となっており、コミュニティの拠点整備や田園景観の保全が求められています。

テーマ5. 人と緑の共生をめざす緑のまちづくり <コミュニティ><管理・運営>

- ・緑や花がいいきと育つとともに、人のコミュニティ形成にも寄与できるよう、地域が主体となって緑の維持管理や運営に関わるための仕組みづくりに取り組んできました。
- ・公園管理会は、平成13年度より既存の公園管理会の活性化を図るなどの趣旨で「まちの美緑花ボランティア制度*」に変更し、取り組み内容の充実や参加団体の増加が進められてきました。
- ・また身近な公園整備の際はワークショップを開催することが一般的になりました。緑に関する市民活動の輪を広げていくため、花みどり市民ネットワークが設立され、花づくりや公園の運営、イベント開催、調査研究等を通じて活動が展開されています。
- ・一方で、少子・超高齢化の進行もふまえ、今後の緑の活動の担い手確保やレベルアップが課題となっています。また情報の共有や発信、民・学・産及び行政による幅広い支援体制の充実も求められています。